

各位

上場会社名 株式会社富士ピー・エス  
代表者 代表取締役社長 長尾 徳博  
(コード番号 1848)  
問合せ先責任者 取締役常務執行役員経理部長 伊藤 章延  
(TEL 092-721-3471)

## 業績予想(個別)の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年2月10日に公表しました平成22年3月期の業績予想(個別)を下記のとおり修正しましたのでお知らせ致します。

記

### ● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,000	600	530	580	32.71
今回発表予想(B)	23,360	1,095	1,035	460	25.94
増減額(B-A)	360	495	505	△120	
増減率(%)	1.6	82.5	95.3	△20.7	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	22,559	△1,286	△1,277	△1,350	△76.13

修正の理由

## 1. 営業利益、経常利益の上方修正理由

売上高の増加に加え、選別受注の徹底、工事施工の効率化、原価管理の徹底などを一層進めたことにより工事の採算性が改善したことや、販売費及び一般管理費の削減効果等により、営業利益、経常利益ともに前回発表予想値を大幅に上回る見通しであります。

## 2. 当期純利益の下方修正理由

当社は、平成16年10月15日にプレストレスト・コンクリート橋梁工事について公正取引委員会から独占禁止法違反による排除勧告を受け、これを不応諾として審判中でありましたが、この度、同委員会から審決案が送達されました。

当社はこの審決案を違法・不当であるとして異議申立を行っておりますが、当社の主張が受け入れられない場合を想定し、本件について予想される損失額を引当金(627百万円)として引き当て、平成22年3月期の特別損失として計上することと致しました。

これにより、当期純利益の見通しを下方修正するものです。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以上